

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月31日

上場会社名 株式会社 ピエトロ
 コード番号 2818 URL <http://www.pietro.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村田 邦彦
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 山本 健一
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

上場取引所 東

TEL 092-724-4925

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	2,218	—	14	—	5	—	△28	—
20年3月期第1四半期	2,411	△1.5	257	15.2	247	18.3	222	106.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△5.08	—
20年3月期第1四半期	39.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第1四半期	7,761	502.33	2,808	502.33	36.2	502.33	502.33	
20年3月期	7,668	524.40	2,932	524.40	38.2	524.40	524.40	

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 2,808百万円 20年3月期 2,932百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	15.00	15.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	16.00	16.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	4,690	—	130	—	110	—	△35	—	△6.25
通期	9,300	3.7	190	△64.9	150	△69.0	△60	—	△10.73

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 5,591,630株 20年3月期 5,591,630株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 300株 20年3月期 300株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 5,591,330株 20年3月期第1四半期 5,591,330株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

1. 平成20年5月15日に公表いたしました連結業績予想は、本日平成20年7月31日別途開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」において修正しております。
 2. 本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項について、及び上記に係る業績予想に関する事項は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。
 3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(参考) 個別業績予想

平成 21 年 3 月期の個別業績予想 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期、第 2 四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		当 期 純 利 益		1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四 半 期 累 計 期 間	4,630	—	140	—	120	—	△30	—	△5.36
通 期	9,170	3.9	200	△64.3	160	△68.2	△50	—	△8.94

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無：有

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期(平成20年4月～平成20年6月)におけるわが国経済は、原油をはじめとする資源価格の高騰により企業収益が悪化するとともに、賃金が伸び悩む中で物価高により個人消費が低迷し、景気減速感が強まってきました。

このような状況のもとで、当社グループは、食品事業において、ブランド重視の販売戦略の継続と健康志向の高品質商品の開発に取り組んでまいりました。また、レストラン事業においては、多彩なメニューの提供と店舗サービスの向上による集客力アップに取り組んでまいりました。

しかしながら、予想以上の個人消費の低迷と原材料価格の上昇等の影響により、当第1四半期の業績は、売上高22億18百万円(前年同期比8.0%減)、営業利益14百万円(前年同期比94.2%減)、経常利益5百万円(前年同期比97.9%減)、四半期純損失28百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

①食品事業

食品事業におきましては、主力ドレッシングのみならず育成強化商品の『スパドレ』『パスタソース』の拡販に取り組むとともに、通信販売限定のプレミアム商品の開発・販売を強化してまいりました。しかしながら、消費者の節約志向の高まりにより、同業他社との競争はもとより量販店のPB(プライベートブランド)商品との競合が一層激しくなり、売上が伸び悩み、当第1四半期の売上高は11億25百万円(前年同期比11.8%減)となりました。一方、コスト面で原材料価格が高騰するとともに、今秋発売予定の新商品「ピエトロドレッシング『BOSCO』」の拡販に向けた販売促進費の積極的な投入もあり、営業利益は2億77百万円(前年同期比38.2%減)となりました。

②レストラン事業

レストラン事業におきましては、昨秋刷新したグランドメニューの訴求を図るとともに、本年4月～5月には『トマトソースで楽しむパスタフェア』、6月からは『冷製パスタフェア』を実施するなど季節感のあるメニュー展開をいたしました。また、本部スタッフの訪店回数増により、『お客様の声』にすばやく・きめ細かく応えてまいりました。

しかしながら、食料品などの相次ぐ値上げ及びガソリン価格高騰の影響等により、外食を手控える傾向が強まり、郊外店を中心に来店客数が減少し、当第1四半期の売上高は10億47百万円(前年同期比3.3%減)となり、営業損益は55百万円の損失となりました。

③その他の事業

その他の事業におきましては、本社ビルの一部テナントの退去により、当第1四半期の売上高は46百万円(前年同期比10.9%減)、営業利益は27百万円(前年同期比1.7%減)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ92百万円増加し、77億61百万円となりました。これは、運転資金の借入等により現金及び預金が81百万円、季節要因により売掛金が29百万円、経費の前払等によりその他の流動資産が47百万円それぞれ増加する一方、減価償却の実施、敷金及び保証金の回収、投資有価証券評価損の計上等により固定資産が53百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は前連結会計年度末に比べ2億15百万円増加し49億52百万円となりました。これは、その他の流動負債(未払金、未払費用等)が1億64百万円増加するとともに、長短借入金の収支が72百万円の収入増加となったこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億23百万円減少し28億8百万円となりました。これは、前期決算の剰余金の配当83百万円及び四半期純損失28百万円の計上等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成20年5月15日に公表いたしました数値を、本日別途開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり変更いたしました。

詳細につきましては、当該資料をご覧ください。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
固定資産の減価償却費の算定方法等について、一部簡便的な会計処理を適用しております。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
 - ①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
 - ②通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法）により算定しております。
これによる当第1四半期連結会計期間の損益及びセグメント情報に与える影響は軽微であります。
 - ③当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用しております。
これによる当第1四半期連結会計期間の損益及びセグメント情報に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	864,614	783,065
預け金	54,002	66,672
売掛金	915,810	886,012
製品	51,127	51,436
原材料	74,299	72,886
仕掛品	1,309	1,883
貯蔵品	16,904	21,279
その他	168,582	121,304
貸倒引当金	△20,256	△24,130
流動資産合計	2,126,395	1,980,410
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,002,117	2,041,014
土地	1,968,498	1,938,568
その他	200,331	203,458
有形固定資産合計	4,170,947	4,183,041
無形固定資産	8,300	8,617
投資その他の資産		
敷金及び保証金	705,477	743,987
その他	777,431	766,734
貸倒引当金	△27,274	△13,860
投資その他の資産合計	1,455,634	1,496,861
固定資産合計	5,634,881	5,688,520
資産合計	7,761,276	7,668,931
負債の部		
流動負債		
買掛金	462,933	445,229
短期借入金	1,700,000	1,500,000
1年内返済予定の長期借入金	496,384	499,616
未払法人税等	4,042	9,528
賞与引当金	30,636	54,911
その他	617,142	453,080
流動負債合計	3,311,138	2,962,365
固定負債		
長期借入金	1,143,016	1,267,112
退職給付引当金	53,013	46,580
役員退職慰労引当金	311,244	307,745
その他	134,146	153,026
固定負債合計	1,641,419	1,774,463
負債合計	4,952,557	4,736,829

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	474,400	474,400
資本剰余金	516,922	516,922
利益剰余金	1,868,547	1,980,837
自己株式	△284	△284
株主資本合計	2,859,585	2,971,875
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,505	121
為替換算調整勘定	△54,372	△39,895
評価・換算差額等合計	△50,866	△39,773
純資産合計	2,808,719	2,932,101
負債純資産合計	7,761,276	7,668,931

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	2,218,832
売上原価	1,052,552
売上総利益	1,166,280
販売費及び一般管理費	1,151,405
営業利益	14,874
営業外収益	
受取利息	1,157
受取配当金	128
為替差益	1,203
その他	531
営業外収益合計	3,020
営業外費用	
支払利息	11,117
その他	1,473
営業外費用合計	12,590
経常利益	5,304
特別損失	
投資有価証券評価損	23,200
その他	11,616
特別損失合計	34,816
税金等調整前四半期純損失(△)	△29,511
法人税、住民税及び事業税	2,466
法人税等調整額	△3,558
法人税等合計	△1,091
四半期純損失(△)	△28,419

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△29,511
減価償却費	65,711
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	9,539
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△24,275
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	6,432
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3,499
投資有価証券評価損益 (△は益)	23,200
受取利息及び受取配当金	△1,285
支払利息	11,117
売上債権の増減額 (△は増加)	△29,798
たな卸資産の増減額 (△は増加)	3,665
仕入債務の増減額 (△は減少)	18,322
未払消費税等の増減額 (△は減少)	20,172
その他	48,761
小計	125,551
法人税等の支払額	△5,236
営業活動によるキャッシュ・フロー	120,314
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△15,000
有形固定資産の取得による支出	△49,942
敷金及び保証金の回収による収入	38,082
利息及び配当金の受取額	441
その他の収入	9,747
その他の支出	△29,643
投資活動によるキャッシュ・フロー	△46,315
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	200,000
長期借入金の返済による支出	△127,328
配当金の支払額	△66,747
利息の支払額	△11,047
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,123
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,023
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	60,852
現金及び現金同等物の期首残高	772,503
現金及び現金同等物の四半期末残高	833,355

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

(単位:千円)

	食品事業	レストラン事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,125,014	1,047,164	46,653	2,218,832	—	2,218,832
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	487	487	(487)	—
計	1,125,014	1,047,164	47,141	2,219,319	(487)	2,218,832
営業利益又は営業損失(△)	277,691	△55,122	27,482	250,051	(235,176)	14,874

(注) 1 事業区分の方法

事業の内部管理区分を考慮して区分しております。

2 各事業区分の主な内容

- (1) 食品事業……………ドレッシング、ソース、レトルト等の製造販売
- (2) レストラン事業……スパゲティ、ピザ等のレストラン経営、パスタ専門ファストフード店経営
- (3) その他の事業……………本社ビル等の賃貸

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

全セグメントの売上高の合計額に占める日本の割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間(平成19年4月1日～6月30日)

(単位:千円)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額
I 売上高	2,411,146
II 売上原価	1,074,049
売上総利益	1,337,096
III 販売費及び一般管理費	1,079,599
営業利益	257,496
IV 営業外収益	4,200
受取利息及び受取配当金	1,220
その他	2,979
V 営業外費用	13,768
支払利息	11,987
その他	1,780
経常利益	247,929
VI 特別損失	545
会員権売却損	545
税金等調整前四半期純利益	247,383
法人税等	24,893
四半期純利益	222,490

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期連結累計期間 (平成19年4月1日～6月30日)

(単位: 千円)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	247,383
減価償却費	64,648
引当金の増減額 (減少: △)	29,335
支払利息	11,987
売上債権の増減額 (増加: △)	△126,876
たな卸資産の増減額 (増加: △)	△11,777
仕入債務の増減額 (減少: △)	44,242
その他 (減少: △)	116,424
小計	375,367
法人税等の支払額	△10,750
営業活動によるキャッシュ・フロー	364,617
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△10,215
その他 (減少: △)	6,749
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,465
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△192,077
その他 (減少: △)	△71,548
財務活動によるキャッシュ・フロー	△263,625
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△727
V 現金及び現金同等物の増減額	96,798
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,068,531
VII 現金及び現金同等物の期末残高	1,165,330

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(平成19年4月1日～6月30日)

(単位:千円)

	食品事業	レストラン事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,275,863	1,082,908	52,374	2,411,146	—	2,411,146
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	534	534	(534)	—
計	1,275,863	1,082,908	52,909	2,411,681	(534)	2,411,146
営業費用	826,485	1,079,864	24,960	1,931,310	222,339	2,153,649
営業利益	449,377	3,044	27,948	480,370	(222,873)	257,496

(注) 1 事業区分の方法は、事業の内部管理区分を考慮して区分しております。

2 各事業区分の主な内容

- (1) 食品事業……………ドレッシング、ソース、ヨーグルト等の製造販売
- (2) レストラン事業……スパゲティ、ピザ等のレストラン経営、パスタ専門ファストフード店経営
- (3) その他の事業……………本社ビル等の賃貸

3 営業費用のうち「消去及び全社」の項目に含めた配賦不能な金額は、222,339千円であり、その主なものは管理部門に係る費用であります。

b. 所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間においては、開示しておりません。

c. 海外売上高

前第1四半期連結累計期間においては、開示しておりません。